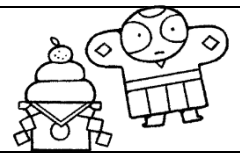


給食・食育だより 1月号



今宿小学校給食室

年末になりました。年末年始は、普段よりも日本の伝統的な文化や行事食に触れる機会が多いのではないのでしょうか。楽しみながら体力を落とさずに生活を送って、元気に冬休み明けを迎えましょう。

1月の給食の特色

○旬の食品を取り入れました。

(大根、せり、ほうれんそう、かぼちゃ、小松菜、れんこん、白菜、長ねぎ、みかん、せとか)

○行事食を取り入れました。

(8日(木)七草風雑煮)

○29日(木)3年生が学習で搾乳体験をします。その関係で、地元の湘南ちがさき MILK 様の調理用牛乳を料理に使わせていただいたり、200ml 飲用牛乳を全校に提供させていただきます。また、料理に使うかぶと白菜は、地元の農家さんが届けてくださる予定です。

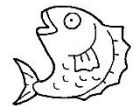
○24(土)-30(金)全国学校給食週間にちなんで、給食の歴史を知る献立を取り入れました。

(23(金)セルフおにぎり、焼き魚、26日(月)くじらの竜田揚げ)

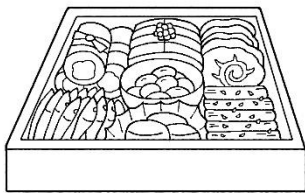


受け継ごう 日本の食文化

地域や家庭に伝わる行事食を知ってつくったり、食べたりしましょう。

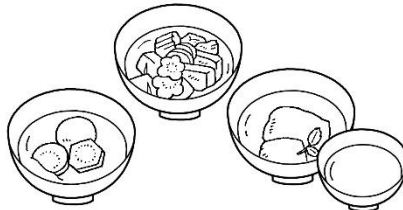


おせち料理



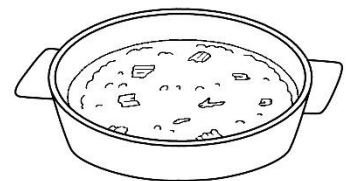
おせち料理は、もともと、節日(季節のかわり目)に神様に供えるものでした。今では、正月のみとなりました。おせち料理には、それぞれ意味があり、健康や長寿などの願いが込められています。

雑煮



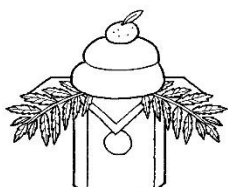
雑煮は、もともと年神様に供えたその土地の産物ともちを煮たものでした。東日本はおもに角もち、西日本はおもに丸もちを入れます。すまし汁仕立てやみそ仕立てなど、さまざまです。

七草がゆ

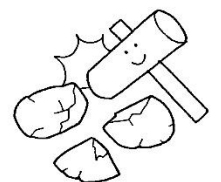


七草がゆは、1月7日の朝に1年の健康を祈って食べます。春の七草とは、せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな(かぶ)、すずしろ(だいこん)のことです。

鏡開きは1月11日



1月11日は鏡開きの日です。お供えした鏡もちを下げたお汁粉にして食べます。鏡もち、は、年神様へお供えした神聖なものであるため、刃物で切るのではなく、木づちや手などで小さく割ります。



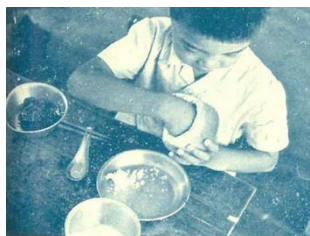


1/24~1/30は「全国学校給食週間」です 日本の学校給食のあゆみ



がっ こう きゅう しょく はじ

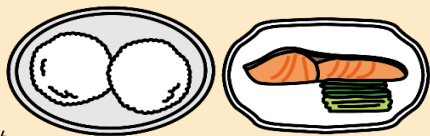
学校給食の始まり



明治22(1889)年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正12(1923)年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなっていました。

おにぎり

や ざかな
焼き魚
つけもの
漬物
めいじ ねん
(明治22年ごろ)



ごしき

五色ごはん
えいよう しる
栄養みそ汁
たいしやう ねん
(大正12年ごろ)



し えん ぶつ し

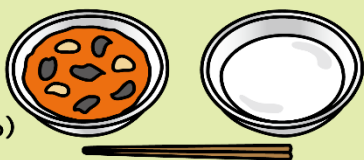
がっ こう きゅう しょく さい かい

支援物資による学校給食の再開

戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和21(1946)年12月24日にLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受けて、翌1月に学校給食が再開されました。当初は12月24日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない1月24日からの1週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

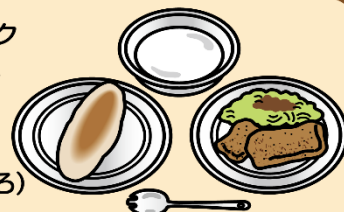
ミルク

トマトシチュー
しょうわ ねん
(昭和22年ごろ)



コッペパン・ミルク

たった あ
クジラの竜田揚げ
ぎ
せん切りキャベツ
しょうわ ねん
(昭和25~30年ごろ)



ゆた こん だて ない よう

バラエティー豊かな献立内容に

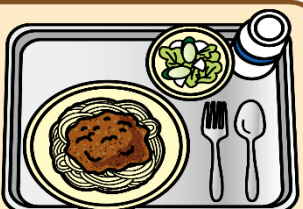
昭和29(1954)年に「学校給食法」が成立したことで、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯(ご飯)が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実していきました。

ミートスパゲッティ

ぎゅうにゅう
牛乳

フレンチサラダ

しょうわ ねん
(昭和40~50年ごろ)

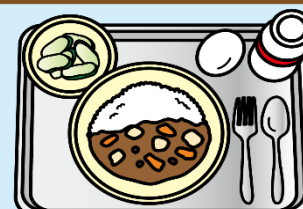


カレーライス

ぎゅうにゅう しお
牛乳・塩もみ

たまご

ゆで卵
しょうわ ねん
(昭和51年ごろ)



このように、学校給食の内容は時代とともに変化しています。現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を続けることができるように、学校給食は「教材」としての役割も担っています。

LARAの記念碑は
みなとみらいの
横浜港新港心頭に
あります。

